

2022年度

年次報告書



特定非営利活動法人COLLECTIVE



目次

01.
はじめに

02.
2022年度活動報告

03.
全国での実践紹介

04.
ご支援いただいた企業・団体の皆さま

05.
活動計算書

06.
団体概要

はじめに

子ども達の未来を育てる

子ども達を取り巻く環境は、劇的に変化しています。2020年には、新型コロナウイルスの流行によりオンラインでの授業が余儀なくされました。小中学校では、1人1台のタブレットが導入され、大学生にとってデジタル端末が必須アイテムになり学校のICT化が急速に加速した1年でした。2021年以降も、AIやメタバース、VRといった最先端技術が学校教育との距離を縮めてきているのも事実です。

一方で忘れてはならないのが、気候変動や食糧問題、人権や性差別などの社会問題です。産業の発展とともに多くの社会課題が生まれてきた地球では、新しい社会での未知なる課題に向かって主体的に責任をもって取り組むことができる人材も必要不可欠となります。

これから到来するであろう新しい社会を生き抜くスキルや新たな問いに立ち向かう思考力、正しい判断ができる人間性を学校教育で育むために、私たち教員がリーダーシップを取っていかなければならないと考えます。

そこでコレクティブでは、子ども達が「未来に触れ、未来を考え、未来のために行動する」教育機会を届けていくことをミッションに掲げています。教員と社会が協働するコミュニティを実現することで、未来の人材を育成できる学校教育を目指して活動していきます。

Message

私たちは、教員として10年以上現場主義で実践を積み上げてきました。教育を社会と分断させないという想いから、センセイとNPO企業が協働して授業開発を行うコミュニティを構築しています。この事業は、児童生徒がより主体的に責任をもって社会と関わり課題解決できる能力を育成するために2018年に始動した教員主体の活動です。これまで、多くの子ども達が社会のリアルに直面することで、課題を自分ごとと捉え責任ある行動をしていく姿を何度も見てきました。子ども達が「未来に触れ、考え、行動する教育」をより多くの現場に届けたい！そんな想いで、この事業を推進しています。

代表理事 秋元 平良

2022年度活動報告



No. 01

EIC2022TOKYO

最先端テクノロジーをもった企業と教員が協働して授業開発を行うコミュニティを構築しています。毎年コンテストを開催し、協働による成果を全国へ発信しています。



EIC特設HP

No. 02

社会課題解決プログラム

社会課題に取り組むNPOと教員がコミュニティを構築し、子ども達が地球の未来について探求していくプログラムを提供しています。



プログラム詳細

No. 03

協働コミュニティ事業

企業の製品開発や改善における課題解決、教育プログラムの作成をサポートする事業です。企業との協働コミュニティを通して、教育への支援を行っています。



collective-sc.org

全国での実践紹介

コレクティブでは、学校が社会と協働するコミュニティづくりを目指しています。全国でコミュニティを構築し、授業実践を行っている学校・企業・NPOをご紹介します。

● 社会課題解決プログラム

● EIC(コンテスト)

● 協働コミュニティ事業

中富良野町立中富良野小学校

NPOと企業と学校で社会課題解決する授業を創る

村上市立村上小学校

ALPHAとメディアポートフォリオを活用した家庭と連携する体力向上の取り組み



Pestalozzi Technology



NPO法人 ezorock



株式会社アドバコム

Mikulak Inc.



たくさんの仲間、指導者から学べる体育授業-発信と交流のあるSNSで高め合う非同期遠隔

新潟市立沼垂小学校

九九学習アプリ忍者算数を教室で有効に使うには算数科知識理解分野を自己調整型学習で実施



京都府立藤城小学校

その他全国11校



SOLIZE

遊びと学びの視点から考えるVRボッチャ



聖学院中学校・高等学校



meleap



秦野市立本町中学校

本町中学校×HADO 授業モデル
運動の楽しさ、幅広い学び、人のつながり
HADOを通して波動していく

青梅市立第二小学校

HADOはどう?身を乗り出す授業づくり
株式会社meleapとの協働によって
実現した学びのご紹介

Event



EIC2022TOKYO

『プロの授業で新化せよ』

日時: 令和5年2月5日

会場: デジタルハリウッド大学4F駿河台ホール

内容: 基調講演、コンテスト、実践報告

ご支援いただいた企業・団体の皆さま

コレクティブの活動に共感いただき心から感謝申し上げます。子ども達の未来のために、これからも末永くご支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

 株式会社アルファドライブ	 株式会社アドバコム	 デジタルハリウッド大学
 一般社団法人Youth Econet	 株式会社ピコトン	 テックファームホールディングス株式会社
 株式会社アスマーク	 学校法人久山学園 青梅幼稚園	 アプコグループジャパン株式会社
 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ	〈個人寄付〉 渡邊雄大 松尾基行 村田有正 ※敬称略 教育サミットin大島参加者 EIC2022TOKYO登壇者	

2022年度、コレクティブは全国18校の小中学校、高校に企業NPOと協働した授業を届けました。北海道、新潟、神奈川、東京、千葉、京都など、計1,080名以上の子ども達が「未来に触れ、未来を考え、未来のために行動する教育」を受けることができました。

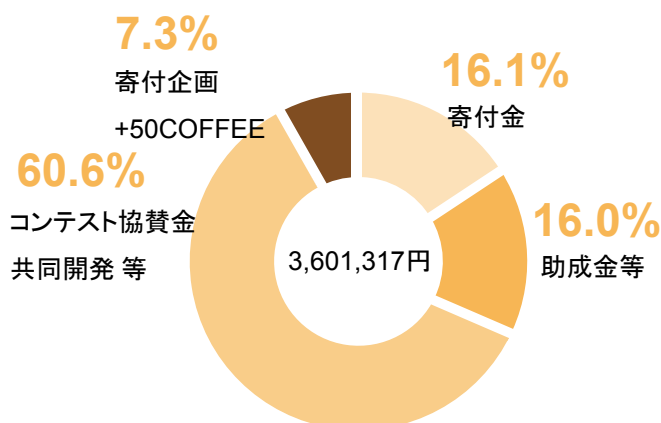
活動計算書

(単位:円)

	科目	金額
当期 経常 増減 の部	1 受取会費	0
	2 受取寄付金	602,078
	3 受取助成金等	582,000
	4 事業収益	2,962,139
	5 その他収益	0
	経常収益計	4,146,217
	1 事業費	人件費 0 その他経費 986,801 事業費計 986,801
	2 管理費	役員報酬 6,363,642 その他経費 1,169,548 管理費計 7,533,190
	経常費用計	8,519,991
	当期経常増減額	▲4,373,774
	法人税、住民税及び事業税	70,000
	前期繰越正味財産額	0
	次期繰越正味財産	▲4,443,774

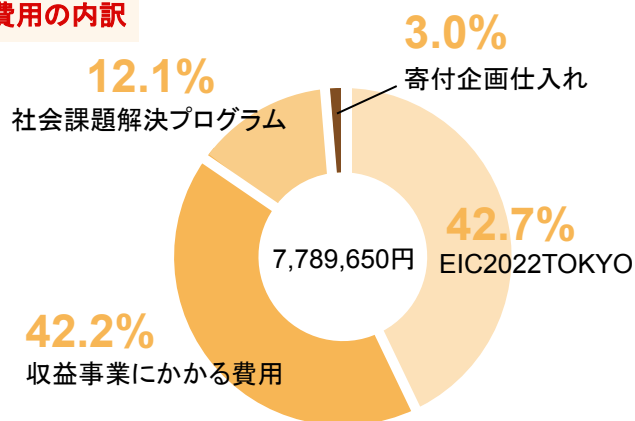
(2022年4月1日～2023年3月31日)

収益の内訳



企業及び個人様より総額583,178円の寄付金をいただきました。次年度以降、社会課題解決プログラムの実施と寄付企画の展開により寄付金額の増収を目指して参ります。

費用の内訳



寄付金は、全額をEIC2022TOKYO及び社会課題解決プログラムの運営費として使用しています。協賛金の一部は、管理費にも使用しております。※役員報酬を除いた費用の内訳

Donation

本活動にご協力くださる皆様からの寄付を随時受け付けております。
お電話、もしくはWEBサイトからお申し込み・お問い合わせください。

☎ 080-4337-5262

@KIHU_COFFEE

NPO コレクティブ



collective-sc.org

団体概要

組織体制(2023年3月31日現在)

理事会

代表理事 秋元 平良

副代表理事 佐々木 廣継

副代表理事 小澤 真紀

理事 片桐 光義

監事 赤沢 佑樹

ファウンダー

臼井純信(株式会社Advacom)

釜石剛(株式会社COCOON LABO)

内木広宣(株式会社ピコトン)

宇野治(一般社団法人Youth Econet)

山本シュウ(ラジオDJ)

遠山健太(株式会社ウイングート)

本郷真平(intoSTANDARD株式会社)

杉山豊(waratte)

ベルトンシェイン(ファンタムスティック株式会社)

村田有正(日本コロムビア株式会社)

参加教員46名

NonProfitOrganization
COLLECTIVE

特定非営利活動法人

COLLECTIVE

web

<https://www.collective-sc.org/>

email

info@collective-sc.org

SNS



NPO コレクティブ

